



みつぎっ子

学校教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町8-1 TEL (055) 222-2408 FAX (055) 222-2407 文責: 校長 小山田貴一

「学力学習状況調査」の結果について

今年度も全国学力学習調査に本校 6 年生が 4 月 1 8 日に臨み、この度調査結果が戻ってきました。昨年度は理科も調査対象でしたが、今年度は国語と算数の 2 教科で、その他に生活習慣や学校生活にかかわる「児童質問紙調査」を行いました。

つきましては、調査結果の分析がまとまりましたので、その概要についてお知らせいたします。

本校では、課題点や改善すべき点、継続する取組等については全教職員間で内容を共有し、全ての子供たちに確かな学力を身につけるために、引き続き授業改善に向けて取り組んでまいります。

◆本校の状況について

1 平均正答率での比較

国 語	県平均 及び 全国平均より【 上回っている 】
算 数	県平均 及び 全国平均と 【 ほ ぼ 同 じ 】

本校の平均正答率は、上の表のとおりです。この学力学習状況調査は、結果の数字だけが全てではありませんが、コロナ禍における、本校の地道な学習指導の取組が子供たちの確かな学力の定着を支えていることがこの結果からうかがえるのではないかと思います。

2 各教科毎の考察

(1) 国語

課 題	<ul style="list-style-type: none">情報の収集を進めることができるが、収集した情報をどのように整理、処理し、活用につなげていくかという点に課題が見られる。友達の意見と自分の意見を比べることにより、その違いについて考え、自分の意見を更に確かなものにする力が低い傾向が見られる。
改善のための方策	<ul style="list-style-type: none">話し合いなどのコミュニケーション活動の場面を授業内に一層積極的に取り入れることにより、友達との意見の交換を経験する機会を増やす。総合的な学習の時間なども活用しながら、情報活用能力育成のための手立てを系統的に設定することにより、収集→整理→理解→発信というプロセスを積極的に経験させていく。

<p>継続する 取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を読んだり書いたりする機会を計画的に設定し、熟語、漢字の構成、同音異義語などの説明を含めた学習を今後も進める。また、授業中のノートや連絡帳等に文章を書く際、正しく漢字を使うことを児童に意識させる指導を行う。 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にしながら読む指導では、筆者の考えや意図を、根拠となる文を見つけながら明らかにする活動を日常的に取り入れる。また、明らかになった事柄をもとに自分の考えをもち、それを書き表す活動を各単元において取り入れる。
--------------------	--

(2) 算数

<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正三角形の性質について問う問題の正答率が低かった。質問の仕方が複雑になっており、県、全国の正答率も低い問題ではあったが、正三角形の1つの角の大きさが60度であることを想起できれば容易に解答できる問題である。図形の性質についての基本的な事項が定着していないことが明らかになったのではないかと考える。 百分率についても、無解答がなかったものの、正答率が低かった。百分率を正確に使いこなすところまでの理解ができておらず、分かったつもりで学習を終えてしまっている児童が多数存在するのではないかと考える。 立式の根拠等、なぜそうなるのかという点について説明（記述）する力に課題がある。
<p>改善のための方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 図形や数量の変化を多面的にとらえられるようになることを期待して、視点の異なった様々なタイプの練習問題を児童に提示するようにする。 数量関係の変化や立式の根拠を、図などを用いながら、論理的に説明する活動を授業内に積極的に取り入れる。 公式の定着、用語の正確な理解といった基本となる事項の指導に当たっては、一年間を見通す中で繰り返し指導するよう心がける。
<p>継続する 取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数量の関係を的確に捉えられるようにするために、問題解決の場面において、図や数直線などに表して考えさせる活動に継続して取り組む。 答えを求めるまでに複数の段階があり、様々なアプローチが考えられる問題に取り組む場面では、自力解決の場面、友達の考えを聞く場面を意識して設定し、思考の変化を発生させるための時間を補償する。 「生きる力」を意識し、算数の学習で学んだことが、日常生活の中でどのように役立つのかという点に児童の思いが至るような指導を心がける。

なお、『児童質問紙』を含む分析結果の詳細を貢川小学校ホームページに掲載していますので、ご覧ください。